

定年後のお金と生き方大全

INDEX

人生にかかる お金マップ

80代

70代

60代

50代

60代

第3章

P46 再雇用&セカンドキャリア

基本 老後に必要な 労働収入を知る

- 再雇用は手取減に注意が必要
- 定年後の賃金ダウンには2つの給付金で対策
- 失業中の手当をチェック

第4章

P56 資産運用

基本 投資の基本は長期・ 積立・分散

- 新NISAでキャッシュフロー資産を運用
- iDeCoで節税しながら積み立てる
- 投資信託・ETFジャンル別ベスト商品
- 優良な高配当株を見つける

第5章

P82 定年後の住まい

基本 健康状態や生活費を 基準に選ぶ

- 終の住まいを健康なうちに決める
- 自治体の補助や施設を活用

第6章

P88 得する相続・贈与

基本 相続・贈与には 税金がかかる

- 制度の活用で相続・贈与は節税

第7章

P92 老後の家計管理

基本 「バランスシート」で 老後に使える資産を確認

- 通信・保険・住居費を削って老後資金に充てる
- ふるさと納税で美味しく家計を節約

第8章

P102 定年後の健康

基本 退職後の健康保険の選び方

- 60～70代の医療・介護費負担割合を確認
- 医療・介護費用は公的制度で負担を最小化

第9章

P108 申請するだけで もらえるお金

相続

資産を子や孫が承継する際には税金がかかる。ただし、贈与や相続のやり方次第では、大きく節税することが可能だ。



75歳以降

医療費

歳を重ねると、病院に行く機会が増える。医療・介護の保険制度を利用して、自己負担額を少しでも抑えておく必要がある。



65歳前後

定年退職 再雇用・再就職

定年退職後に再雇用・再就職すると、手取りの賃金が減少する傾向にある。給付金などを利用して、必要な収入を確保しておきたい。



50歳前

資産運用

20代～50代は生涯の資産設計を考えて、手持ちの資産を増やしておきたいタイミング。NISAやiDeCoなど、節税しながら投資できる制度を賢く利用して、堅実に資産を増やしたい。



巻頭企画 1

P4 定年後「豊か」に暮らすために、50代の今できること

対談 頼藤太希さん
荻原博子さん

巻頭企画 2

P10 プロが解説！
お金の最新事情

第1章

P18 公的年金

基本 年金は貯金ではなく
長生きリスクの保険

- 受給額を「ねんきん定期便」で確認
- 追納や任意加入で満額受給する
- 年金の繰り下げで受給額を増やす
- 平均余命も参考に受け取り年齢を考える
- 年の差夫婦は加給年金の有無も確認

第2章

P34 退職金

基本 退職金は
一時金だけではない

- 自分の会社の退職金制度を把握する
- 企業年金の受取方法は一時金と年金の2つ
- 退職所得の申請書を提出する
- 退職金とiDeCoの損しないもらい方
- 給料の一部を退職金に回すよう交渉

60歳～65歳

年金支給

国民年金や厚生年金の受給は原則65歳だが、65歳より前に受給できる「年金の繰り上げ」もある。ただ、平均寿命が延び続けていることから、繰り下げるなどして年金の受給額を増やしておきたい。

